

匠の逸品の運用状況

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信／国内／株式

2018年1月26日

- 新たな市場の創出によるテクノロジー製品の需要拡大、自動化、省力化投資ニーズなどを受けた設備投資の拡大などがけん引役となり、日本経済成長率の押上げや日本企業の持続的な利益成長が見込まれることから、中長期的に国内株式市場は上昇基調を辿ると考えられます。
- 当ファンドでは、業績拡大およびROE（自己資本利益率）の向上が続くと考えられる銘柄へ選別投資を行い、パフォーマンスの向上に努めてまいります。

1. 投資環境と今後の見通し

1-1. 投資環境

国内株式市場は、2018年に入ってから上昇基調が続いております。その主な背景として①米国で税制改革法案が成立したことが好感され米国株式市場が堅調に推移していること、②世界景気の拡大や国内消費の持ち直しなどを受けて日本企業の業績拡大期待が高まっていること、③北朝鮮と韓国の高官による南北協議が開催されるなど地政学リスクが後退していることが考えられます。

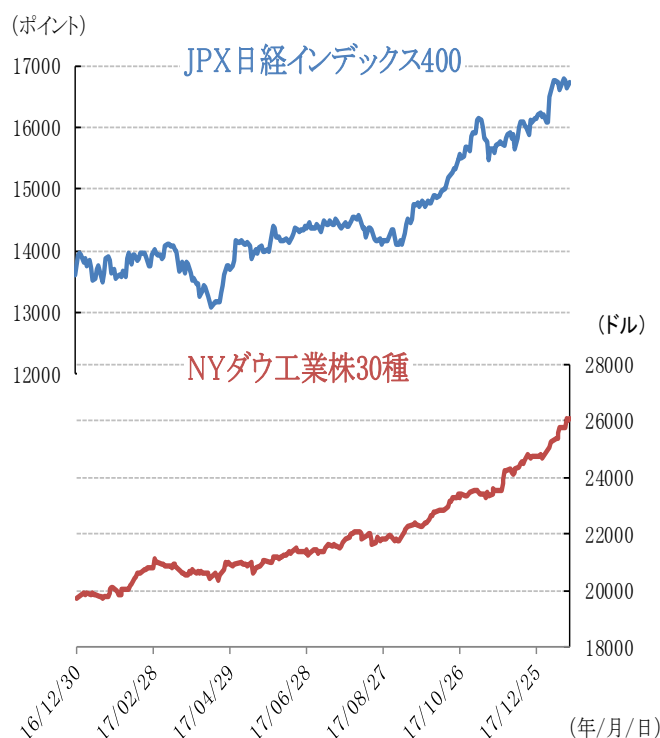
1-2. 今後の見通し

当面の国内株式市場は、年初来の上昇ピッチが急だったこともあり、短期的には上値の重い展開となる可能性はありますが、良好な海外経済や企業業績拡大への期待が支援材料となることに加え、下落局面では日銀の上場投資信託(ETF)買入れや上場企業による自己株買いなど需給面でも良好な環境が想定されることから、堅調な展開が続くと見えております。

また、中長期的には①AI(人工知能)やIoT(Internet of Things、モノのインターネット)など新たな市場の創出によりテクノロジー関連製品の需要拡大が展望されるほか、②国内の人手不足、人件費上昇などを背景とする自動化、省力化投資ニーズなどを受けた設備投資の拡大も期待されます。

こうした新たな市場の創出や設備投資の拡大は、日本経済成長率の押上げや日本企業の持続的な利益成長につながると考えられます。このため、国内株式市場は中長期的にも上昇基調を辿ることが期待されます。

市場動向



(期間)2016年12月30日～2018年1月19日(日次)
(出所)Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信／国内／株式**

2. 当ファンドにおける対応

2-1. 新潟本社銘柄

新潟本社銘柄では、株式の流動性に配慮しつつ、北越工業やコロナなど特定の分野で高い市場シェアや競争力を有しており、中期的な利益成長が期待される企業や、遠藤製作所や有沢製作所など世界的な景気拡大による業績面での恩恵が大きいと考えられる企業などの株式の組入比率を高めとした運用を行っています。

主な組入銘柄（新潟本社銘柄）

銘柄名	銘柄概要
北越工業	土木・建設現場などで使われるエンジンコンプレッサで国内市場シェア首位。アメリカやアジアでも事業を展開。
北越銀行	新潟県(長岡市創業)を地盤とする地方銀行。2018年10月に第四銀行と経営統合し、持株会社を設立予定。
コロナ	空調・暖房機器および住設機器を製造・販売。石油暖房機器は国内生産シェアトップ。
遠藤製作所	鍛造技術をコアに、優れた金属加工技術を有し、ゴルフ事業、ステンレス事業、鍛造事業を展開。
有沢製作所	スマートフォン向けFPC(フレキシブルプリント配線板)材料などの電子材料を主力事業とする。このほか、航空機用ハニカムパネルなどの産業用構造材料などを手掛ける。

(出所) 各種資料より岡三アセットマネジメント作成

※上記は、2018年1月19日時点で組み入れている銘柄です。

※上記は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

2-2. JPX日経インデックス400構成銘柄

JPX日経インデックス400構成銘柄では、世界的に良好な経済環境や来年度にかけての増益率などに着目し、幅広い業種の中から株価上昇余地が大きいと判断した銘柄に選別投資しております。今後につきましては、1月下旬から発表が本格化する2017年10-12月期の企業決算の精査などを踏まえ、今後のROE上昇余地が大きいと見られる銘柄の組入比率を引き上げる一方、好業績が株価に織り込まれつつあると見られる銘柄や今後の増益率の鈍化が懸念される銘柄の組入比率を引き下げる方針です。

中長期的な観点では、有望と考えられる分野として、AIやIoTなど新しい市場で成長が期待されるテクノロジー株、自動化・省力化投資拡大の恩恵が見込まれる設備投資関連株などが注目されます。こうした銘柄のなかから、投資魅力が高いと考えられる企業の株式に積極的に投資する方針です。

主な注目分野と組入銘柄（JPX日経インデックス400構成銘柄）

主な注目分野	背景	主な組入銘柄
テクノロジー	IoT(モノのインターネット)、自動運転、AI(人工知能)	日本電産、デンソー、TDK、日立製作所
設備投資	FA(工場の自動化)、ロボット	SMC、キーエンス、オムロン、THK
金融	米国長期金利の上昇、株式市場の上昇	三菱UFJフィナンシャル・グループ、オリックス、野村ホールディングス
新興国	新興国の経済成長、インフラ投資の拡大	スズキ、資生堂、双日

(出所) 各種資料より岡三アセットマネジメント作成

※上記は、2018年1月19日時点で組み入れている銘柄です。

※上記は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

当ファンドでは、業績拡大およびROEの上昇が続くと考えられる銘柄へ選別投資を行い、パフォーマンスの向上に努めてまいります。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

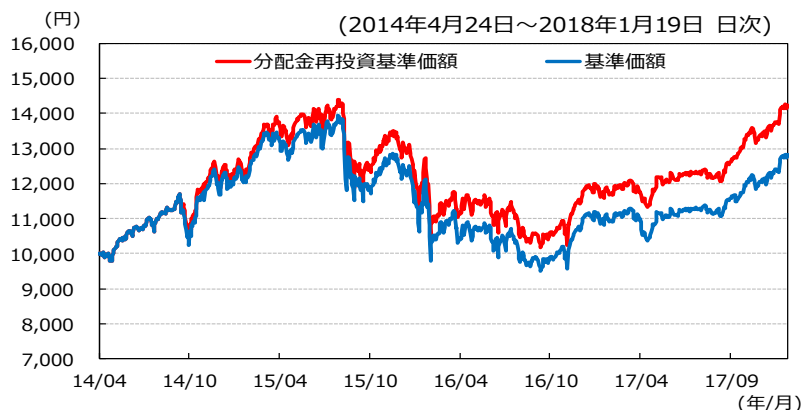
■本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信／国内／株式

運用状況

(作成基準日：2018年1月19日)

■ 設定来の基準価額の推移



- (注) 上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
(注) 分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
(注) グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

■ 組入上位10業種

	業種名	組入比率
1	電気機器	15.7%
2	機械	8.9%
3	輸送用機器	8.4%
4	銀行業	8.0%
5	化学	7.0%
6	小売業	6.4%
7	食料品	5.7%
8	卸売業	4.4%
9	建設業	4.3%
10	情報・通信業	3.8%

■ 組入上位銘柄

JPX日経インデックス400構成銘柄

	銘柄名	組入比率
1	日本電産	3.2%
2	デンソー	2.4%
3	アサヒグループホールディングス	2.4%
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.3%
5	S M C	2.2%
6	T D K	2.1%
7	キーエンス	2.0%
8	スズキ	2.0%
9	日立製作所	2.0%
10	資生堂	2.0%

新潟本社銘柄

	銘柄名	組入比率
1	北越工業	2.3%
2	北越銀行	2.0%
3	コナ	1.9%
4	遠藤製作所	1.7%
5	アークランドサカモト	1.7%
6	有沢製作所	1.6%
7	ブルボン	1.5%
8	田辺工業	1.3%
9	ツインバード工業	1.3%
10	日本精機	1.2%

※組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率です。

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)ファンドの特色

- 主として、わが国の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式のうち、JPX日経インデックス400の構成銘柄(銘柄入替時の予定銘柄を含みます。)および新潟県関連企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
- 投資候補銘柄の選定にあたっては、主に資本の効率的活用を測る指標であるROE(自己資本利益率)の水準、方向性、変化等に着目します。
- 新潟県関連企業の株式の組入比率は、投資信託財産の純資産総額に対して概ね30%程度とします。ただし、流動性や市場情勢の変化等によっては、新潟県関連企業の株式の組入比率は30%から大幅に乖離する場合があります。
- 新潟県関連企業とは、新潟県に本社(本店)を置く企業、および新潟県に主要な工場、店舗、施設等がある企業とします。
- 株式の組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。ただし、市況動向を勘案の上、委託会社が適切と判断した場合、株価指数先物取引等を活用して株式の実質組入比率を大幅に引き下げることがあります。
- 株式以外の資産の投資割合は、原則として投資信託財産総額の50%以下とします。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

■ 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

■ ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

■ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。

■ 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金を支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。

■ 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

■ 購入時

購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。

■ 換金時

換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

■ 保有期間中

運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）

■ その他費用・手数料

監査費用：純資産総額×年率0.0108%(税抜0.01%)

■ 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）

●お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

●詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

（受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。）

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

（金融商品取引業者）

岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長（金商）第169号	○			
--------------	-----------------	---	--	--	--

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）